

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56)(R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96)(R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少	
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上	
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少	
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下	
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上)10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下	
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下	
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満 B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満 D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上	
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,415人、C型1,397人 (R6)	B	増加	
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8%(R4)	—	90%以上	
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	82.7%(R6)※	A	全国平均を超える	

※令和4年度以降については、令和元年10月3日付け「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種実施状況に関する調査について(依頼)」(厚生労働省健康局健康課事務連絡)の調査より算出

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	禁煙希望者に禁煙してもらう	・たばこ対策専門部会の開催(R7.12.23) ・世界禁煙デー・禁煙週間にポスター掲示、高知城ライトアップによる啓発 ・「高知家健康チャレンジ」による禁煙の呼びかけを実施 ・とさ禁煙サポーター養成講座及びとさ禁煙サポーターフォローアップ研修会の開催(養成講座：R7.9.20、フォローアップR8.3.1予定) ・健康づくりひとくちメモでの啓発 禁煙年5回放送	《課題》 ・喫煙率は減少しているものの目標達成に至っていない。 《今後の取組》 ・禁煙支援に携わる医療従事者の養成やフォローアップを行うなど、喫煙をやめたい人がやめることができる環境づくりを推進する。 ・令和8年度から、「禁煙」分野の広報、啓発を高知家健康チャレンジからたばこ対策事業での単独実施に移行する。
	生活習慣の改善に向けた取組を進める	・「高知家健康チャレンジ」において、5つの分野「減塩、野菜摂取、運動、節酒、禁煙」に、新たに「朝食摂取の定着化」を加え啓発を実施 ・ウォーキングイベント等の開催(延べ14,444名参加 4回開催：1月中旬時点) ・健康づくりひとくちメモでの啓発：飲酒3回、運動6回、栄養8回(1月末時点)	《課題》 ・飲酒、運動、野菜摂取量等の指標は目標を達成していない。 《今後の取組》 ・引き続き総合的な啓発を実施することでよりよい生活習慣の定着を図る。
	感染に起因するがん対策を進める	・肝炎治療の助成(受給者証交付数 11月末現在) インターフェロンフリー治療20件、核酸7ナログ製剤治療360件 ・肝炎医療コーディネーターの養成 ・新規養成研修会の開催 23名養成(9/17) ・フォローアップ研修会の開催 54名出席(11/26) ・HPVワクチン啓発資材配布 ・定期接種対象者向けチラシを県内公立・私立学校等に配布(161校13,000枚)	《課題》 ・検査実施機関により、肝炎陽性者の精密検査受診率が目標に達していない。 ・HPVワクチン接種率は全国並に上昇しているものの年度により変動がある。 《今後の取組》 ・各市町村・職域検診実施機関等に肝炎検査陽性時の対応について、継続して周知を行う。 ・がん対策と併せたHPVワクチンの啓発・周知を行い、接種率の向上を図る。
	学校教育におけるがん教育を進める	・がん教育外部講師派遣事業の実施 60校(全60回)派遣予定 ・高知県がん教育推進協議会の開催 1回(11/10)	《課題》 ・外部講師の派遣に関する地域差 《今後の取組》 ・関係機関と連携しながら、引き続き外部講師派遣体制を充実させていく。 ・地域差に関する課題の分析と課題解決に向けた取組の実施。 ・指導用教材のアップデートと活用の充実を図る。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)[再掲]	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56)(R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96)(R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率[再掲]	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	-	向上
年齢調整罹患率[再掲]	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少
がん検診の受診率 (40~50歳代)	肺59.2%、胃41.6%、大腸46.6%、 子宮頸47.4%、乳51.7%	肺61.4%、胃40.1%、大腸49.1%、 子宮頸50.1%、乳52.4%(R6)	D	60%以上
がん検診の精密検査受診率 (地域)	肺90.4%、胃91.7%、大腸84.6%、 子宮頸80.0%、乳96.6%(R2)	肺92.3%、胃90.7%、大腸84.3%、 子宮頸77.9%、乳93.6%(R4)	B	90%以上
がん検診の精密検査受診率 (地域・職域)	肺71.4%、胃62.0%、大腸56.6%、 子宮頸57.7%、乳89.9%	肺65.0%、胃61.8%、大腸58.8%、 子宮頸62.1%、乳93.1%(R6)	D	90%以上
市町村チェックリスト実施率	肺90.9%、胃90.5%、大腸89.4%、 子宮頸90.3%、乳90.9%	肺88.7%、胃88.4%、大腸88.3%、 子宮頸89.4%、乳88.8%(R6)	B	向上
がん発見率	肺0.04%、胃0.05%、大腸0.11%、 子宮頸0.02%、乳0.29%	肺0.04%、胃0.06%、大腸0.12%、 子宮頸0.02%、乳0.35%(R6)	B	向上
陽性反応的中度	肺3.11%、胃2.02%、大腸2.76%、 子宮頸1.9%、乳7.1%	肺2.99%、胃2.9%、大腸2.72%、 子宮頸1.6%、乳9.2%(R6)	D	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・科学的かつ効率的な受診勧奨を行い、検診受診率が 増加している ・精度の高いがん検診が実 施されている	がん検診の受診を推進する	・がん検診受診促進事業(市町村補助金)29市町村を支援 検診の個別通知・再勧奨・精密検査未受診者への受診勧奨など ・がんポータルサイト「こうちがんサポネット」の開設 ・職域向けの受診啓発動画及び受診啓発マニュアルを作成 ・居住地以外の市町村でも受診可能な広域検診の実施 夜間 3日(10/31-11/14) 土日 5日(2/11-2/28) ・より身近な場所で受診機会を設けるコンビニ検診※の実施 3日(4/22香南市、10/10高知市、11/13須崎市) ・テレビCM 80本(9月、10月、1月)、WEB・SNS広告(9-10月)、新聞広告掲載 ※県と包括協定を締結しているコンビニエンスストアの駐車場を活用した市町村検診	《課題》 ・がん検診の受診率の目標値に、肺以外の検診が到達できていない。 ・「こうちがんサポネット」の認知度が不足している。 《今後の取組》 ・がん検診の受診率向上について、市町村検診の利便性向上、デジタル化を推進。 ・「こうちがんサポネット」の周知及び機能の充実。
	がん検診の精度向上を進める	・精密検査未受診者への受診勧奨実施 ・精密検査実施公表医療機関 胃:40医療機関、大腸:34医療機関、 肺:12医療機関、子宮頸:13医療機関、乳:12医療機関(R7.10月時点) ・高知県健康診査管理指導協議会の開催 協議会1回開催 部会4回(肺、胃・大腸、子宮、乳)開催 ・子宮頸がん検診ワーキンググループ 2回 ・がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況 (R7精度管理調査、集団(内視鏡のみ個別)) A(基準を全て満たしている):肺2,胃(X線)3,胃(内視鏡)2,大腸4,子宮2,乳3 B(基準の一部を満たしていない):肺25,胃(X線)26,胃(内視鏡)25,大腸25,子宮25,乳24 C(基準を相当程度満たしていない):肺3,胃(X線)1,胃(内視鏡)3,大腸1,子宮2,乳0	《課題》 ・精度管理調査結果について、基準を相当程度満たしていない市町村が一部ある。 ・職域における精密検査受診率が低い。 《今後の取組》 ・精度管理調査の結果、改善が必要と認められる場合は、市町村に検診実施方法の 改善を働きかける。 ・「こうちがんサポネット」に掲載している職域向けの啓発資料や、精密検査実施医療機 関が検索できる機能の周知を図る。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2%(R5)	67.2%(R7)	B	向上
手術療法実施件数	3,464件(R3)	3,744件(R5)	A	増加
放射線療法実施件数	1,105件(R3)	1,110件(R5)	B	増加
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件(R3)	-	-	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている</p>	<p>拠点病院等の機能充実が図られる</p>	<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院等機能強化事業 補助先:高知医療センター・県立幡多けんみん病院・県立あき総合病院 各拠点病院等の治療実績等を「こうちがんサポネット」へ掲載(R7年度中を予定) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央保健医療圏に拠点病院が集中していることから、周辺圏域の医療機関との機能に応じた役割分担と連携体制の強化が必要。 県民がどこに住んでいても適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制確保が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院機能強化事業等で、拠点病院の機能強化にかかる取り組みの支援。 「こうちがんサポネット」の周知を強化し、治療実績等の掲載データを充実していく。
	<p>標準的な治療(手術療法・放射線療法・薬物療法)が、質が高く安全に実施されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 手術療法と薬物療法はすべての二次保健医療圏で提供 放射線療法は中央及び幡多医療圏に集約 がん治療を受けられる医療機関一覧を「こうちがんサポネット」へ掲載(R7.10月) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術療法、放射線療法、薬物療法、緩和ケア、口腔ケア等ががん医療に専門的に関わる医療従事者の確保・育成の促進が必要。 がん診療連携拠点病院等を中心に、高齢化や生産年齢人口の減少が進む2040年を見据えた持続可能ながん医療提供体制の構築が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 「中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム」等を通じて、がん診療連携拠点病院等において、がん医療に専門的に関わる医療従事者の確保・育成。 2040年を見据えたがん医療提供体制について、都道府県がん診療連携拠点病院を中心に、均てん化・集約化に向けた議論をすすめる。
	<p>チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多職種によるカンファレンスを月1回以上開催するがん診療連携拠点病院等 がん診療連携拠点病院等 4機関(R7現況報告) 高知県がん診療連携推進病院 1機関(R6現況報告(R7現況報告はR8.2月実施予定)) 院内歯科のない病院に対して、「高知県歯と口の健康づくり実態調査」を通じ、がん治療における医科歯科連携の重要性について周知啓発を行った(58病院)。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高いがん医療を提供するため、全拠点病院等における多職種によるチーム医療の推進が必要。 手術期における口腔ケアの推進が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 拠点病院等とともに、拠点病院等におけるチーム医療の提供体制の整備を進める。 医療従事者に対して、がん治療における医科歯科連携の必要性について研修等を行う等、一層の啓発を行う。また、院内歯科のない病院に対して、「高知県におけるがん診療に関わる医科歯科連携マニュアル」の再周知を図る。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2%(R5)	67.2%(R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関(R5)	11機関(R5)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人(R2年9月)	2,151人(R5年10月)	—	増加	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	<ul style="list-style-type: none"> ・がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会数1,197人(R7.12月時点) ・県内のがん治療に関するセカンドオピニオンに対応可能な医療機関数17機関(R5医療機関がん診療体制調査(今回はR8年度実施)) ・緩和ケアを実施すべき時期について「がんと診断されたときから」と回答した患者の割合:29.2% 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん医療に携わる医療従事者が基本的な緩和ケアを正しく理解し、知識等を習得することで、緩和ケアが診断時から適切に提供されるよう、継続して研修会を実施することが必要。 ・患者・医療従事者を含む県民に対し、緩和ケアに関する正しい知識の更なる普及啓発に取り組むことが必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、がん医療に携わる医療従事者が基本的な緩和ケアを実践し、その知識や技能を維持・向上できるように、研修会を開催する。 ・全保健医療圏で緩和ケアに関する研修を修了した医療従事者を増加させるため、引き続き研修の周知に努める。 ・「こうちがんサポネット」やサポートブック等を活用し、緩和ケアの普及啓発を引き続き推進する。
	在宅療養支援を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者への訪問看護を行っている施設数21施設(安芸2、中央16、高幡2、幡多1)(R5) ・がん患者への訪問診療を行っている施設数34施設(安芸3、中央24、高幡5、幡多2)(R5) <p>(R5医療機関がん診療体制調査(今回はR8年度実施))</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護、訪問診療ともに中央保健医療圏に集中しており、がん患者が希望する場所で療養支援ができるように、在宅移行支援などの連携体制が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅緩和ケアに関する研修会を開催する。
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	<ul style="list-style-type: none"> ・妊よう性温存治療費助成件数(R7.12月時点) 胚凍結1件、未受精卵凍結4件、精子凍結5件 ・妊よう性温存治療費補助金の啓発用リーフレットを拠点病院等へ配布 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊よう性温存治療費補助金の情報発信や指定医療機関の拡大が必要。 ・妊よう性温存治療及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供及び意思決定支援を行う体制の整備。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊よう性温存治療費補助金の啓発用リーフレットの作成。 ・地域がん・生殖医療ネットワークにおいて適切な支援や治療提供のため、連携体制を強化する。
	小児がん患者に対して支援が十分に行われている	<ul style="list-style-type: none"> ・小児がん中国・四国ネットワーク会議へ参加7回(R7.12月時点)(高知大学医学部附属病院及び高知医療センター医師が参加) ・小児慢性特定疾病対策事業での悪性新生物の認定件数 31件(R7.10月時点) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児・AYA世代のがん患者に対する支援体制の整備が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年がん患者の在宅療養に係る費用の助成。 ・小児がん中国・四国ネットワークに参加している高知大学医学部附属病院、高知医療センターを中心として、小児がん拠点病院である広島大学病院をはじめとした同ネットワーク参加病院と症例を共有しつつ、連携の強化に努める。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2%(R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	がんの相談支援を受けられる	<p>・拠点病院等の相談窓口における相談件数(令和7.12月末時点)</p> <p>高知大学医学部附属病院640件(面談324件 電話309件 その他7件)</p> <p>高知医療センター 902件(面談645件 電話256件 その他1件)</p> <p>幡多けんみん病院 352件(面談274件 電話71件 その他7件)</p> <p>あき総合病院 408件(面談359件 電話49件 その他0件)</p> <p>高知赤十字病院 308件(面談263件 電話45件 その他0件)</p> <p>国立病院機構高知病院 343件(面談300件 電話43件 その他0件)</p> <p>がん相談センターこうち 241件(面談110件 電話125件 その他6件)</p> <p>7機関計 3,194件</p> <p>・がんサロンの開催件数 95件(予定件数)(令和7.12月末時点)</p> <p>・がんサポートブック改訂版 5,500部</p> <p>・がん相談窓口紹介カード デザイン等改訂 6,100枚</p> <p>・がん相談窓口紹介ポスター デザイン等改訂 415枚</p> <p>・がんポータルサイトトップページにがん相談窓口やがんサポートブックを掲載</p> <p>・がんピア・サポーター実地研修(模擬サロン):候補者6名、医療者6名</p> <p>・がんピア・サポーター実地研修(がんサロンへ参加):令和7.12月～</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者等が必要な時に相談窓口につながり、課題が解決できるようがん相談支援センター等のより一層の周知が必要。 ・がん患者及び家族の悩みや負担を軽減するために、同じ経験を持つ者による相談支援や情報提供が受けられるがんピア・サポーターの養成及び活動が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談窓口やがんサロン、がんの療養情報等ががん患者に必要な情報を掲載した「こうちがんサポネット」の周知を強化し、内容を充実していく。 ・がんピア・サポート活動を開始。
	治療と仕事の両立支援を進める	<p>・「高知県地域両立支援推進チーム」連絡会議 高知労働局主催(令和7.12月時点)</p> <p>・ハローワークとがん診療連携拠点病院等の連携による出張相談(就労支援ナビゲーター1名)</p> <p>・がんポータルサイトへ新たに両立支援に関する情報や相談窓口等を掲載した「治療と仕事」のページを作成。</p> <p>・治療と仕事の両立支援に関する動画及びマニュアルを作成し、「こうちがんサポネット」へ掲載。</p> <p>・アピアランスケア支援事業実施市町村16市町村(令和7.12月末)</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者が診断時から治療と仕事を両立させるための情報提供や相談支援を受けることのできる体制整備が必要。 ・事業のニーズが把握できていない、マンパワー不足等からアピアランスケア支援事業を実施している市町村が少ない。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、患者等へ「こうちがんサポネット」や作成資材等を活用し情報共有するとともに、職場における制度の導入やがん患者への理解等について事業所へ啓発していく。 ・制度及び現状をがん治療実施医療機関へ情報共有し、現場のニーズを市町村へフィードバックする。

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2%(R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
					A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.40(2021年値)	-	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.6(2021年値)	-	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満
					- 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国がん登録の精度を高めることができる 	<p>がん登録届出体制の整備を推進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国がん登録におけるがん登録届出対象医療機関数161医療機関 ・全国がん登録の利用件数2件(R7.11月) ・がん登録推進事業 委託先:国立大学法人高知大学 ・廻り調査 2022、2023年データについて実施 ・全国がん登録における指定診療所数(歯科診療含む)42施設 ・冊子「高知県のがん登録2021年集計」報告書作成 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して精度の高い全国がん登録届出体制の整備が必要。 ・県民がどこに住んでいても適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制確保が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国がん登録事業を着実に実行する。 ・がん登録等により得られたがんの罹患状況や治療実績等に関する情報を活用し、「こうちがんサポネット」に掲載している治療実績等の掲載データを充実していく。